



TOPICS | まちの話題

平成21年度 秋の叙勲 晴れの叙勲おめでとうございます



瑞宝単光章
(統計調査功労)
成田長利 さん

昭和38年に統計調査員に任命され、同39年に名寄市統計協議会に加入。現在、同協議会事務局兼理事。

国鉄名寄機関区に勤務していた
当時に先輩の勧めもあって統計調査員となり、国勢調査などの各種調査員として今年で46年を迎え、通算百数十回に及ぶ調査業務に従事しました。

今回の受章にあたっては、「家族の理解と多くの先輩方のおかげと感謝しています。統計は生き物で、これからも常に新鮮な気持ちで取り組んでいきたい」とのことでした。

男女共同参画社会への意識向上のために 11/18～19



今年で2回目となる"女も男もわいわいバスツアー"に市民25人が参加して、日常生活の中では難しい男女共同参画社会に対する意識向上を図りました。

道立女性プラザ(札幌市)では、「女性の目で見
る空もよう～環境問題から、身近な気象情報まで
～」と題して、NHKおはよう北海道などでおなじみの菅井貴子さん(フリーキャスター、気象予報士)の講演会に参加。また、開催中の女性プラザ祭などを見学しました。

翌日は、北海道警察本部庁舎などを見学し、にぎやかなバスツアーを通じて確かな意識の向上が図られたようでした。

“なよろ南瓜”に称賛の便りが届きました



手紙を読む桶谷部会長

横浜市在住の方から島市長に宛てられた手紙には、名寄の実家から届いた南瓜を在日アルジェリア大使に持参したところ「お世辞抜きに大変美味しい味だった」との称賛の言葉をいただき、生まれ故郷の味が遠く北アフリカの方に認めてもらえたことが大変嬉しく、このことを生産者の方に届けていただきたい旨が綴られていました。

なよろ南瓜は作付面積、収穫量ともに道内2位の規模(平成19年度)を誇っています。道北なよろ農業協同組合南瓜部会の桶谷進部会長(部会戸数150戸)は、届けられた市長あての手紙を読んで、「品質・味

とも自信を持って作っています。なよろ南瓜はほとんどが本州大都市圏に出荷されていて最高ブランドとされています。食べていただいて、その便りが届くというのはとてもうれしいことで、おいに励みにもなります」と感想を述べていました。

遠く海の向こうで『やまゆり号』が活躍します 11/10



移動図書館車として昭和60年から22年間運行した『やまゆり号』が、南アフリカ共和国で新たな活動の時を迎えます。平成19年8月の車両更新によって現役を引退した車両は、南アフリカ移動図書館プロジェクトによって国内での再整備を終え、今年10月7日に横浜を出港し、11月初旬に同共和国東部にあるダーバン港に到着する予定です。現地では学校に移動図書館車が巡回することで、子どもたちの本を読む機会が増え、識字率が向上するほか、教職員の資質向上にも役立つなど、『やまゆり号』の新しい活躍の場面が待ち受けています。

天候不順の影響で、26年ぶりの「援農」 11/10



昭和58年以来26年ぶりとなる「援農」が行われました。例年であれば、畑を駆ける大型機械が秋を告げる収穫の風景ですが、天候不順のために大型機械が畑で作業できない状態になったことから11月9日からの3日間、1日に約60人を投入しての援農となりました。市内17戸の農家が対象で、主に智恵文地区の特に収穫作業が遅れているビート、ジャガイモ、タマネギを人の力で収穫していました。協力した市、農協の職員は、足場が悪くぬかるむ畑で、泥だらけになりながら汗を流していました。



育ちと学びの応援ファイル 名寄版「すくらむ」の活用を推進しています

子どもに関する不安や悩みには、成長(発達)をはじめ、アレルギー・アトピーなど、多岐にわたります。

「すくらむ」は、母子手帳のように親が記録・管理し、病院や幼稚園・保育所、学校などに子どもの情報(成長の記録)を伝えるときに提示します。

医療や保健、福祉、教育などの機関が連携して、切れ目のない一貫した支援が実現されることを願って作成されました。

わが子が大人になるまでの「育児ノート」として、ぜひ、活用してください。シートのダウンロード、詳しいことは下記サイトをご覧ください。

名寄市ポータルサイト <http://www.city.nayoro.lg.jp>
文化 教育 スポーツ 学校・教育委員会 「すくらむ」からシートをダウンロードしてください。

問い合わせ 教育委員会参事(市役所名寄庁舎3階) ☎01654 2111(内線3377)
ご不明な点は、教育委員会、保健センター、療育センター、各保育所、各幼稚園、各小中学校にお問い合わせください。